

平成30年2月20日

保護者の皆様

島本町立第一小学校  
校長 頼田 和典

## 平成30年度 学校教育自己診断「学校教育アンケート」の 結果について

平成30年11月に実施した「学校教育アンケート」にご協力いただき、ありがとうございます。その結果についてお知らせします。

### 1 アンケート結果全体について

昨年度と比較して、児童・保護者とも全体的に肯定的回答の割合が低下した項目がありました。

児童の回答においては、読書に関する質問の肯定的回答が上昇し、読書習慣の定着が図られていることがわかります。また、児童が友人と協力し、努力してものごとに取り組んでいる様子も伺えます。

一方で授業中に落ち着いて話を聞いたり、自分の将来を考える質問の肯定的回答の低下が見られます。児童の様子や発言等に注意し、日々の変化を見逃さないようにして、個々の児童に適した指導や支援が必要であると考えます。

保護者の回答としては、授業に関する質問に対する肯定的回答の割合が約9割近くありました。ただ、個に応じた指導に関しては、取組の推進が必要であり、今後も児童1人1人が興味をもち、積極的に取組めるような授業及び行事等をめざします。

いじめ防止やキャリア教育、ICTの活用等の質問で、保護者の方の「わからない」という回答の多く、あわせて学校の様子が良くわかると回答した保護者が約6割にとどまっていることから、保護者の方に学校での取組をお知らせする工夫が必要であると考えます。

今年度より食育に関する質問が入りましたが、肯定的回答が約7割であり、今後も引き続き、食に関する指導を継続する必要があります。

### 2 それぞれの質問項目について（大きく変化したもののみ）

#### ①昨年度と比較し上昇した項目

##### 【児童】

- 6 読書をよくする。 +7.0%
- 19 家でも本（マンガ以外）を週に1回以上は読むことがある。 +16.4%

##### 【保護者】

- 8 子どもは人権の大切さや社会のルールについて分かっていると思う。 +2.8%

#### ②昨年度と比較して低下した項目

##### 【児童】

- 1 学校へ行くのが楽しい。 -8.1%
- 7 学校では自分らしく生きることや将来について考える機会がある。 -8.5%
- 13 授業中は、落ち着いて先生の話や友達の発表を聞いている。 -9.1%

【保護者】

- 12 先生たちは学習のつまづきを的確に把握し、子どもにきめ細やかな指導や支援をしている。 -1.6%
- 13 家庭への連絡や懇談・学校ホームページ等を通し、子どもの学習活動・様子についてよく知ることができる。 -16.1%

3 個々の結果について [数字は【肯定的回答・否定的回答・分からない（昨年度との比較）】]

☆授業について

2	児童	授業は、わかりやすい。	85.3(-2.9)	12.5(+0.7)	2.2
13	児童	授業中は落ち着いて先生の話や友達の発表を聞いている。	82.1(-9.1)	14.4(+5.9)	2.7
17	児童	英語の授業は、これからの役に立つと思う。	82.1(-2.3)	14.7(-0.9)	3.3
21	児童	世界の国々や環境、平和について学習することは役に立つと思う。	88.0(-5.2)	8.2(+1.4)	3.3
2	保護者	先生は、授業がわかりやすいように工夫しているようだ。	89.1(+0.1)	4.4(+1.3)	5.3
12	保護者	先生たちは学習のつまづきを的確に把握し、子どもにきめ細やかな指導や支援をしている。	67.4(-1.6)	17.1(+9.4)	7.7
<p>授業に対する肯定的回答は8割をこえているが、きめ細やかな指導をする必要がある。 →児童が分かりやすく、また先生や友達の発表を聞いて、自分の考えを深めることと、個に応じた指導を推進し、一人ひとりを大切にしたい授業づくりをめざします。</p>					

☆ICTの活用について

3	児童	先生は、コンピュータやプロジェクターを使って授業している。	88.6	6.5	4.9
3	保護者	学校は、ICT機器（コンピュータやプロジェクター等）を使ったわかりやすい授業を行っている。	60.0	11.2	27.6
<p>「分からない」と回答している保護者の割合が高い。 →今年度、各教室にプロジェクターや書画カメラが配置されたことにより、それらを活用し、分かりやすい授業をめざします。</p>					

☆キャリア教育について

7	児童	学校では、自分らしく生きることや、将来について考える機会がある。	75.0(-8.5)	20.1(+3.6)	3.8
7	保護者	学校は、学年に応じて、子どもが生き方や将来について、考えられるような指導（キャリア教育）を行っている。	53.8(+0.8)	21.5(+6.5)	22.9
<p>肯定的回答で保護者と児童のギャップがあり、「分からない」と回答している保護者の割合から考えて、周知不足である。また否定的回答が20%を超えている。 →児童には、総合学習や道徳の時間を使い、生き方や将来について考える機会を設けるとともに、キャリア教育の取組を、学校だより、学年だよりを通して、保護者に伝えるようにします。</p>					

☆いじめ防止の取組について

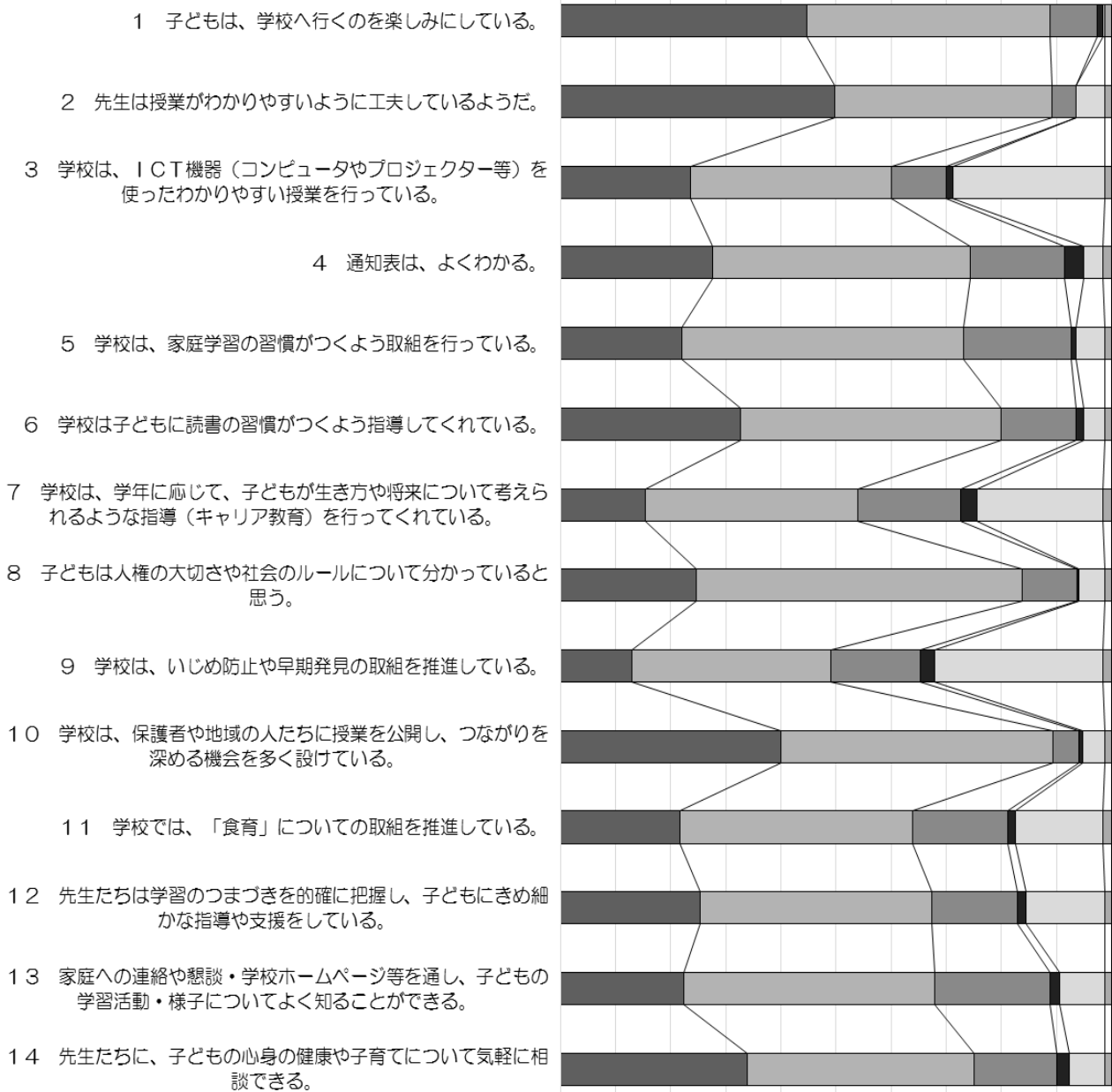
9	児童	学校は、「いじめをしてはいけない」と教えてくれる。	90.2(-1.1)	7.6(-1.1)	2.2
9	保護者	学校は、いじめ防止や早期発見の取組を推進している。	49.1(+0.1)	18.8(+3.8)	30.6

児童の肯定的回答が90%に対して、保護者の肯定的回答が約半数、「わからない」と回答している割合が30%と高い。

→今後も生活アンケートや道徳等を通していじめ防止の取組を進めるとともに、保護者と連携し児童をきめ細やかに見守るとともに、学校での取組を周知します。

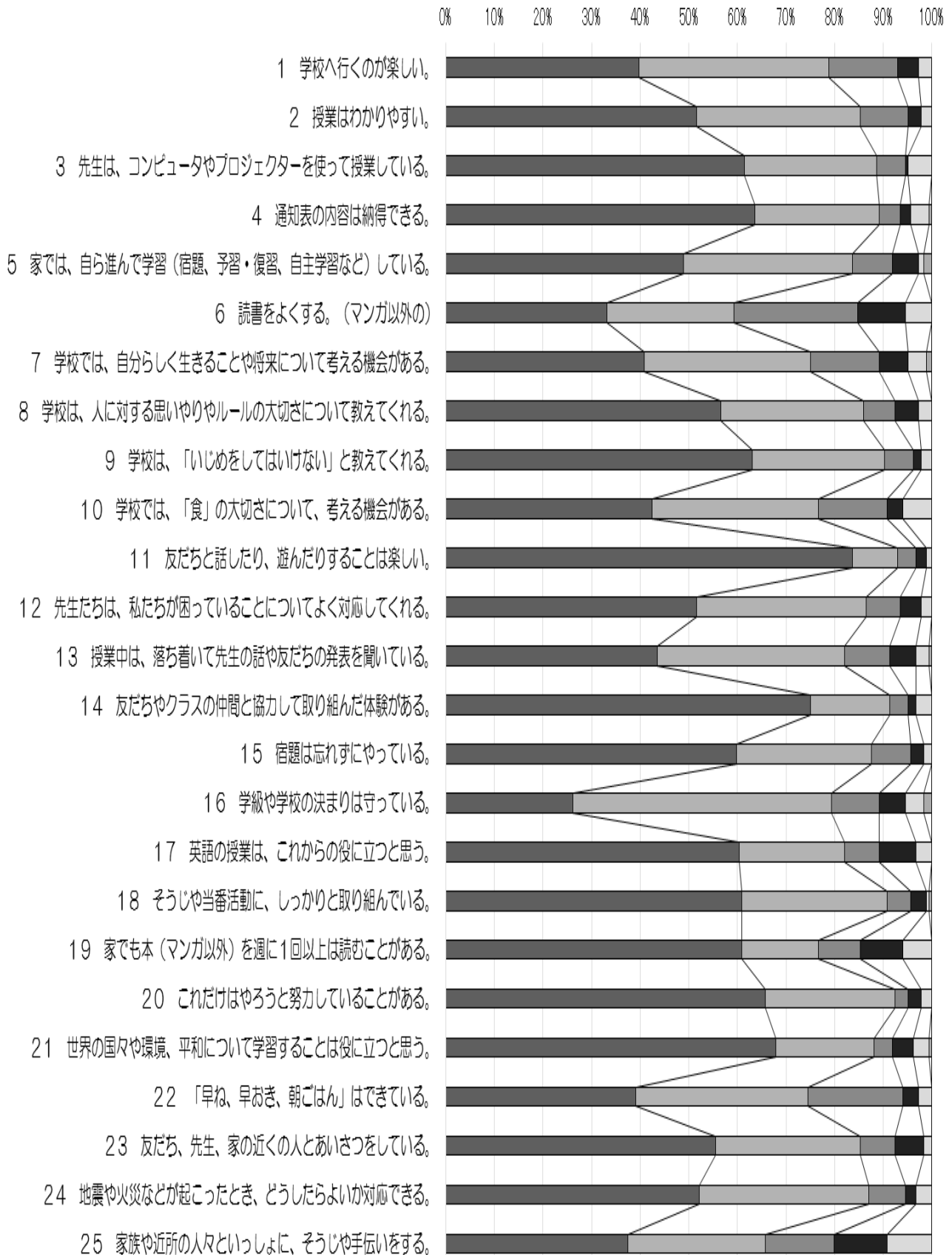
学校教育自己診断 結果（保護者）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■よくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない □わからない ■無回答

## 学校教育自己診断 結果（児童）



■よくあてはまる □ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない □わからない ■無回答